

平成29年度村政懇談会 地区自治会質問内容

中丸地区自治会

<p>質問事項 (題 目)</p>	<p>JR 東海駅プラットホームの屋根の設置</p>
<p>質問要旨 (内 容)</p>	<p>現在のプラットホームの屋根は、プラットホームの長さよりも屋根の長さがかかり短い。雨天時は、手荷物を持ちながら傘をさす必要があり、高齢者に限らず大変苦勞している。また、平成 31 年度には茨城国体が開催され、多くの選手や関係者が当村に訪れる。東海駅は、村の玄関口であることから、屋根の設置を要望する。</p> <p>実施主体は JR 東日本かもしれないが、相手側に働きかけ、負担割合を協議するなど早期の着工を要望する。</p>
<p>回答</p>	<p>(まちづくり推進課)</p> <p>J R 常磐線東海駅のホーム屋根延伸につきましては、毎年度実施している茨城県常磐線整備促進期成同盟会の J R 東日本水戸支社への要望において、東海村からの独自要望として継続的に申し入れを行っております。</p> <p>しかしながら、J R 東日本水戸支社管内においても、限られた予算の中で各駅の安全対策や橋上化工事など、安全や老朽化への対応を優先して実施せざるを得ない状況にあり、実現には至っておりません。</p> <p>ご意見にもありますように国体の開催も予定されておりますし、雨天時等、利用者の皆様が苦勞されている状況もございますので、引き続き J R 東日本水戸支社に強く働きかけてまいりますのでご理解・ご協力をお願いいたします。</p> <p>【茨城県常磐線整備促進期成同盟会】 会長：橋本 昌茨城県知事（事務局：企画部交通政策課） 茨城県及び県内 19 市町村で組織し、J R 東日本や関係省庁等に対する要望活動や利用促進に関する取り組みを実施している。 ※ 平成 29 年度 J R 東日本本社特別要望（6 月 29 日 16：00～16：30） 萩谷副村長出席</p> <p>【J R 常磐線東海駅】 開 業：明治 31 年 4 月（昭和 32 年に石神駅から改称） 橋上化：平成 6 年 1 月 利用者数：4,869 人／日（2015 年）</p>

平成29年度村政懇談会 地区自治会質問内容

中丸地区自治会

<p>質問事項 (題 目)</p>	<p>東海村ふるさと納税の返礼品について</p>
<p>質問要旨 (内 容)</p>	<p>現在、東海村のふるさと納税（寄附金）は返礼品がない。本来、返礼品は納税の趣旨に合致しないとも言うが、地場産業の活性化と東海村のイメージアップ、財源確保のために、返礼することを提案する。</p> <p>総務省から、転売可能な評価が高い返礼品については、見直しすべきとの通知がでていますが、干し芋や米、ぶどうなどの農産物、焼き菓子など東海村を PR できるものは多い。</p>
<p>回答</p>	<p>(総務課)</p> <p>ふるさと納税につきましては、自主財源の確保という目的だけではなく、地域の特産品を返礼品とすることにより特産品の PR と地域経済の活性化をもたらす効果があります。</p> <p>しかし、本来のふるさとを応援したいという気持ちを寄付金として表すことを理念とした制度であるのですが、自分のふるさとよりも、返礼品に魅力のある自治体に寄付をする傾向が強い状況にあります。</p> <p>本村としましては、本来の利益を求めないふるさと納税の制度を基本とする考えであり、本村の特産品の PR につきましては「東海村おすすめセレクション」を活用しまして、ふるさと納税とは切り離して実施していきたいと考えておりますので、ご理解をお願いいたします。</p> <p>なお、本村のふるさと納税の実績ですが、平成28年度は2件で80万円、平成27年度は5件で69万円、平成26年度は2件で60万円となっております。</p>